

- 問1 円高になると、原材料や商品を海外から安く仕入れられるため、経営にプラスの恩恵がある企業を何という？
- 問2 日本銀行が景気調整のために市中銀行との間で行う、債券の売買による金融政策を何という？
- 問3 景気の悪化やデフレからの脱却を目指し、市場への資金供給を増やす政策を行う中央銀行を何という？
- 問4 円安によって海外からの資源や食料品の購入コストが引き上げられ、家計に負担をかける要因となる経済現象は何ですか？
- 問5 日本円と外国の通貨を交換する際、1単位あたりの円の価値が下がっている状態を何という？
- 問6 景気が悪化している際に、日本銀行が国債を買い入れて市場に資金を供給することで下げようとするものは何？
- 問7 税金の受け入れや国の予算の管理など、政府の資金を取り扱う日本銀行の役割を何という？
- 問8 継続的に物価が下がり続け、相対的にお金の価値が上がってしまう経済状態を何という？
- 問9 外国の通貨に対して、日本円の価値が相対的に上がることを何という？
- 問10 円高によって収益が悪化しやすい、製品を海外へ売る産業を何という？
- 問11 日本銀行が日本で唯一発行を許可されている、紙幣（日本銀行券）を発行する銀行としての役割を何という？
- 問12 日本銀行が政府の銀行として管理する、国の税収などを指す公的な資金を何という？
- 問13 円安が進んだとき、海外での売上を日本円に換算した際の受け取り金額が増加し、利益を得やすくなるのはどのような企業ですか？
- 問14 政府が資金を調達するために発行する債券で、日本銀行が募集や支払いを代行するものを何という？
- 問15 経済全体でモノの値段が継続的に上がり、貨幣の価値が相対的に下がってしまう現象を何といいますか？
- 問16 民間銀行の経営が行き詰まった際、日本銀行が資金を貸し出すことで連鎖倒産を防ぐ役割を何という？
- 問17 お金に余裕がある人から、必要としている人へ資金を融通する仕組みを何という？
- 問18 銀行が預金を受け入れ、それを貸し出すことを繰り返すことで、社会全体で通貨の量が増える仕組みを何という？
- 問19 銀行同士が資金を貸し借りし、経済活動を円滑に進めるために行われる仕組みを何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 輸入	円高になると、海外の商品を少ない日本円で買うことができます。これにより、燃料費や原材料費のコストが下がるため、輸入企業はコスト削減の恩恵を受けることができます。また、輸入品の価格が安くなれば、家計にとっても生活費を抑えられる効果があります。
問2	答え 国債	日本銀行が市中銀行から国債を買い入れると、銀行の資金が増えて市場のお金の流れが活発になります。逆に、日本銀行が国債を売ると、市中銀行の資金が日本銀行へ移動し、市場のお金の量が減る仕組みです。
問3	答え 日本銀行	日本銀行は、日本で唯一の紙幣発行権を持つ「発券銀行」であり、「政府の銀行」として国庫金の出納を扱い、「銀行の銀行」として一般の金融機関へ資金の貸し出しを行います。景気が悪い時は金利を下げるなどして、世の中に出回るお金の量を増やす政策を実施します。
問4	答え 物価	円安になると、海外から輸入する品物の価格が日本円換算で高くなります。このコスト増を避けるために販売価格が引き上げられ、結果として国内全体の物価が上昇します。これが家計を圧迫する大きな要因となります。
問5	答え 円安	円安とは「1ドル=100円」から「1ドル=120円」へ変化するように、外貨を買うために必要な円の量が増えることを指します。これは、円が外貨に対して安くなっていることを意味します。
問6	答え 金利	日本銀行は国債を買い入れることで銀行の持つ資金を増やします。すると、銀行は貸し出すお金に余裕ができるため、企業や個人へのお金の貸し出しを促進しようと金利を下げます。金利が下がると借金がしやすくなるため、投資や消費が活発になり景気の回復が期待されます。
問7	答え 政府の銀行	日本銀行は政府の預金を預かり、国税の受け入れや公共事業費などの支払いを処理します。この役割を担うことで、国の資金を安全かつ効率的に運用することが可能になっています。政府との連携が不可欠であり、中央銀行としての重要な職務の一つです。
問8	答え デフレーション	デフレーションでは、モノの価格が下がり続けるため、企業は売上が減少します。また、お金の価値が上がるため、消費者は将来の値下げを期待して買い控えを行い、さらなる不況を招く悪循環に陥りやすいのが特徴です。
問9	答え 円高	円高とは、例えば「1ドル=100円」だったものが「1ドル=80円」になるような状態です。これは以前よりも少ない円で外国の製品を購入できることを意味します。
問10	答え 輸出	円高になると、海外で販売する製品の現地通貨建て価格を高く設定せざるを得ず、販売量が落ちるか、同じ価格で売れば円換算の利益が減るという二重の苦しみを味わいます。これにより、輸出産業の収益は大きく悪化しやすくなります。
問11	答え 発券銀行	日本銀行は日本で唯一の「発券銀行」として、日本銀行券を製造・発行する権限を持っています。私たちの手元にあるお札はすべて日本銀行から供給されており、信用ある通貨として全国で通用しています。
問12	答え 国庫金	国庫金は、私たちが納めた税金や国が調達した借金などを指し、日本銀行内の口座で管理されています。国が道路を作ったり公務員に給与を払ったりする際は、この口座から必要な金額が引き出され、経済活動に使われます。
問13	答え 輸出企業	円安になると、海外で商品を販売して得た外貨を日本円に替えた際、以前より多くの日本円を受け取ることができます。そのため、自動車メーカーや電機メーカーなど、海外での売上比率が高い輸出企業にとっては、業績が向上する追い風となります。
問14	答え 国債	国債は国が発行する債券で、購入者には利子が支払われます。日本銀行はこの国債の発行事務や、満期を迎えた時の元利金の支払いを代行する役割を担っています。これにより、国債の流通が安定し、スムーズな資金調達が可能になります。
問15	答え 通貨	インフレーションが起こると、同じ金額のお金で買えるモノの量が少なくなります。これは裏を返せば、お金のものの価値（購買力）が低下していることを意味します。モノの値段が上がれば上がるほど、相対的にお金の価値は小さくなってしまいます。
問16	答え 最後の貸し手	民間銀行同士でも資金の貸し借りができない異常事態において、日本銀行が資金を貸し出すことで破綻を回避させます。これが「最後の貸し手」としての機能です。この存在があることで、預金者は安心して銀行にお金を預け続けられます。
問17	答え 金融	預金者からお金を預かり、それを企業や個人へ貸し出す銀行などの金融機関がこの仲介役を担います。お金の貸し手は利息を受け取り、借り手は事業や購入のために資金を得ることで、経済活動が活発になります。
問18	答え 信用創造	銀行に預けられたお金の一部が借り手へ渡り、その借り手が別の銀行に預け、その銀行がまた貸し出す…という過程を繰り返すことで、元の現金以上の預金が生まれます。このように金融機関が預金を生み出すことを信用創造と呼びます。
問19	答え 資金決済	日本銀行にある民間銀行の当座預金口座を使って、銀行同士の支払いを差し引き計算で精算します。これにより、大量の現金を持ち運ぶことなく、安全かつ確実に「資金決済」が行われます。この効率的な仕組みが現代の経済を支えています。